

芸術鑑賞教室開催！

-心に響くスティールパンの音色-

9月10日(木)。館林市カルピスホールで、芸術鑑賞教室が行われました。

今回、子どもたちが出会ったのは、ドラム缶から生まれた楽器「スティールパン」。ジブリ作品のメドレーや「アメイジング・グレイス」など、美しく澄んだ音色が会場いっぱいに響きました。

演奏に合わせて手拍子をする場面では、会場が一つになりました。

公演では、スティールパンが生まれたトリニダード・トバゴの歴史も紹介されました。太鼓や竹を使った演奏が制限されても音楽を諦めず、身近にあったドラム缶から新しい楽器を生み出していった人々の歩みに、子どもたちは耳を傾けていました。

最後には、ベートーヴェン作曲「交響曲第9番『歓喜の歌』」も演奏されました。美しい音色とともに、音楽に込められた人々の思いや歴史にも触れる、心に残る時間となりました。

※写真はイメージです！

